

# ミクロ経済学

尾山 大輔

[www.oyama.e.u-tokyo.ac.jp/komabaMicro19](http://www.oyama.e.u-tokyo.ac.jp/komabaMicro19)

2019 年 9 月 26 日

## 概要

- ▶ 経済学の諸分野を学ぶ上での基礎となる基本項目を概説する.
- ▶ A1・A2 ターム 木曜日 3・4 限 (13:00–16:40)
- ▶ 1323 教室
- ▶ 「ミクロ経済学 I」と「ミクロ経済学 II」の両方に履修登録し、両方の試験を受けること。片方のみの履修は認めない。  
同じ日に試験を行い (@本郷キャンパス), 同じ成績をつける.
- ▶ 成績：期末試験
- ▶ 毎回宿題を出す予定 (提出不要)

→ [www.oyama.e.u-tokyo.ac.jp/komabaMicro19](http://www.oyama.e.u-tokyo.ac.jp/komabaMicro19)

### 準教科書

- ▶ 神取道宏 『ミクロ経済学の力』 日本評論社
- ▶ 奥野正寛 編著 『ミクロ経済学』 東京大学出版会

### 演習書/参考書

- ▶ 神取道宏 『ミクロ経済学の技』 日本評論社
- ▶ 奥野正寛 編 『ミクロ経済学演習』 東京大学出版会
- ▶ 尾山大輔・安田洋祐 編著 『経済学で出る数学』 日本評論社

## (ミクロ) 経済学とは

- ▶ よりよい社会を実現するためには、社会がどう動いているのか・動くのかを理解する必要がある
- ▶ 経済学は、そのための物の見方・分析枠組を提供する学問 (のひとつ)
- ▶ 経済学の分析のひな形：
  - ▶ 外的要因 (制度や政策)
    - ⇒ 各主体 (人や企業) の行動決定
    - ⇒ 主体たちの行動の集計
    - ⇒ その評価 (各主体による評価に基づく)
- ▶ 数学モデルを用いて分析
  - ▶ 各主体はそれぞれ何らかの目的関数を最大化しているとみなす
  - ▶ 「すべての主体の最適行動どうしが『均衡』している状態」として現実の現象をとらえる

## (ミクロ) 経済学とは

- ▶ 「ミクロ経済学」の授業でやること
  - ▶ 経済学のさまざまな分野の基礎となる分析道具を学ぶ
  - ▶ それらの道具を使って現実の現象を分析してみる
- ▶ 対象
  - ▶ 市場制度
  - ▶ その他の制度 (組織の内部など)
- ▶ 理論
  - ▶ 価格理論
  - ▶ ゲーム理論

# 講義内容

- ▶ 価格理論
  - ▶ 消費者理論
  - ▶ 生産者理論
  - ▶ 市場均衡
  - ▶ 市場の失敗
- ▶ ゲームの理論・情報の経済学
  - ▶ 静学ゲーム
  - ▶ 動学ゲーム
  - ▶ 危険分担とモラルハザード
  - ▶ 逆選択とシグナリング

## 実際に手を動かして問題を解いてみること！

- ▶ (提出不要だが) 宿題をちゃんと解く
- ▶ 問題集をやってみる
  - ▶ 神取道宏 『ミクロ経済学の技』 日本評論社
  - ▶ 奥野正寛 編 『ミクロ経済学演習』 東京大学出版会
  - ▶ 尾山・安田 『経済学で出る数学—高校数学からきちんと攻める』 日本評論社
  - ▶ 白石俊輔 『経済学で出る数学—ワークブックでじっくり攻める』 日本評論社